

# 戦略・挑戦・改革

## 城川中だより

令和6年12月25日（水）発行



辰年から巳年へ

校長 小川 英志

今年も残すところあと僅かとなりました。皆さんにとって、今年一年はどのような年だったでしょうか。干支で言うと今年は辰年で、急速な成長と変化を誘う年でした。変化と言えば、城川中学校では、今年、校則を大きく見直しました。また、秋の文化イベントも、本校を会場に初めて開催されました。その他、様々な教育活動において、変化することや失敗を恐れずに積極的に取り組んできた1年でした。

さて、来年の干支は巳（み・へび）ですが、実は干支は「十干（じっかん）」と「十二支（じゅうにし）」を組み合わせたもののことを言います。ですから、より正確には、来年の干支は、十干の「乙（きのと）」と十二支の「巳（み）」が組み合わさった「乙巳（きのとみ）」とされます。乙巳が持つ意味は、「乙」は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持ちます。また「巳」は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

ところで、あと一週間ほどで今年も終わります。今年、大きな成長を遂げた人もいれば、思ったような成長を感じることができなかった人もいることでしょう。そこで来年は、これまでの自分を一度改めるとともに、世の中や周りの変化に柔軟に対応しながら発展していけるように、時には慎重に、そして時には大胆にチャレンジする年にしていきましょう。

2025年が皆さんにとって良い年になりますように。

そして、来年も引き続き、城川中学校の教育活動への御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



良いお年をお迎え下さい。



## 教育目標

ふるさとを愛し、未来に向かって学び、  
主体的に生きる力を育てる。  
自主・創造・共生

## 1月 行事予定表

日	曜	行事等	給食	スクールバス
1	水	年始休業		
2	木	年始休業		
3	金	年始休業 市成人式		
4	土			
5	日			
6	月	仕事始め		部活動便
7	火			部活動便
8	水	始業式 部活動休養日 専門・中央委員会 3年生実力テスト(国・理・社)	○	15:50 16:50
9	木	3年生実力テスト(数・英)	○	15:40 16:50
10	金		○	15:40 16:50
11	土			部活動便
12	日			
13	月	成人の日		
14	火	1年生市学力調査(国・数・英) スクールカウンセラー来校	○	15:40 16:50
15	水	職員会 部活動休養日	○	14:40
16	木	帝京第五高校学業奨学生入試	○	15:40 16:50
17	金	英検一次	○	15:40 16:50
18	土			部活動便
19	日			
20	月		○	15:40 16:50
21	火	スクールカウンセラー来校	○	15:40 16:50
22	水	部活動休養日	○	15:40
23	木		○	15:40 16:50
24	金		○	15:40 16:50
25	土	西予市PTA連合会レクバレー大会 (乙亥会館)		部活動便
26	日	奥伊予リレーマラソン		
27	月		○	15:40 16:50
28	火	スクールカウンセラー来校	○	15:40 16:50
29	水	部活動休養日	○	15:40
30	木		○	15:40 16:50
31	金	県立高校特色入学者選抜学力検査 漢字検定	○	10:30 16:50

## 文化部門の表彰

<西予市児童生徒理科研究作品>

努力賞 織田 真咲 富永 優月  
田中 悠月 宮内 陽菜  
吉川 仁瑚

<JA共済 小・中学生安全ポスターコンクール>

銅賞 富永 優月

<防火ポスター>

優秀賞 吉川 仁瑚

<読書感想文市内コンクール 自由図書の部>

佳作 稲田 夏帆

<へき地学校優良児童生徒表彰>

優良児童生徒 宇都宮 蒼史

<へき地学校児童生徒書写作品展>

金賞 稲田 夏帆

銀賞 宇都宮 蒼史

佳作 宮内 陽菜 伊原 和奏

<えひめ子ども美術展 書写部門>

(硬筆の部) 県入選 吉川 仁瑚

市入選 宇都宮 蒼史

田中 悠月

山口 友希乃

(半紙の部) 市入選 川崎 海音

伊原 和奏

<家族のきずなエッセイ>

県モラロジー協議会長賞 木下 幹菜

## 体育部門の表彰

<乙亥大相撲(中学生の部)> 11/27

出場選手: 宇都宮 蒼史③ 川内 翔真③

○は学年 松本 将太郎①

上杉 玲奈③ 田中 心琴③

団体対抗戦 3位

宇都宮 蒼史 松本 将太郎 川内 翔真

個人勝抜戦1年生男子

優勝 松本 将太郎

個人勝抜戦3年生男子

3位 宇都宮 蒼史

個人勝抜戦3年生女子

3位 田中 心琴



## 生徒会役員決定

生徒会長 大盛 琥雅  
副会長 吉川 仁瑚  
学級委員長 山本 瑠璃奈  
学習委員長 宮内 陽菜  
広報委員長 渡辺 晴斗  
生活委員長 渡辺 春陽

## シェイクアウトえひめ

12月17日(火)に「シェイクアウトえひめ」が行われ、本校でも訓練を実施しました。消防署員さんから「命を守る現場から」というテーマで話をいただきました。当たり前と思う日常が、災害の発生により失われる恐ろしさを改めて学ぶことができました。貴重なお話をありがとうございました。御家庭でも防災について話題にいただければ幸いです。



//////////////////// 編集後記 //////////////////////

どうして当時の新語・流行語大賞に「まいおさ」は選ばれなかったのでしょうか。1985年、TBS系列で放送されたドラマ「毎度おさわがせします」は、衝撃的なドラマだったと記憶しています。そのドラマに出演していたのがトップアイドルの中山美穂さんです。12月、中山美穂さん死去のニュースは衝撃で、とても悲しいものでした。現在、トップアイドルと聞いて誰を思い浮かべるのでしょうか。なかなか難しいものです。中山美穂さんは、まぎれもなくトップアイドルでした。時代が作り上げた偶像是、多くの人のあこがれと共に、輝きを放っていました。

今年の新語・流行語大賞は「ふてほど」でした。TBS系列で放送されたドラマ「不適切にもほどがある!」の略称です。コンプライアンスやハラスメントに束縛された現在の世の中にタイムスリップし、昭和時代にはごく普通だったやり取りをする主人公は、痛快に見えたことでしょう。

今年、多くの人が「ふてほど」と言っていなかったように、当時、「まいおさ」とは誰も言っていなかったこと、私は中山美穂さんより南野陽子さん推しであったこと、不適切ではありますが、ここに付加します。

2024年、お世話になりました。良いお年を。

(文責: 岡部 一行)